

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/08/07～2018/09/30)

Moi! フィンランドに到着してから約2ヶ月が経ち、大学の授業にもフィンランド生活にもようやく少しずつ慣れて来たところです。学部の授業が始まったのは9月からなのですが、夏休み期間中に Suomi 1 というフィンランド語のサマーコースを受講していたので、先月のことにも触れつつこの2ヶ月のことを書きたいと思います。

1. 勉学の状況

8月7日から約1ヶ月間、大学で開講されているフィンランド語のサマーコースに参加していました。3クラスに分かれて60人ほどが授業を受けており、簡単なフィンランド語が学べて留学生の知り合いも増えたので良かったです。

9月からの授業に関しては、少人数でディスカッションやプレゼンテーションを行うような授業が多く先生からのフィードバックもしっかりいただけるので、一つ一つの授業の内容はかなり濃いと思います。授業は週に3回授業があるものから数週間に1回というようなものもあり、日本と比べるとかなり変則的な時間割になるので時間割を組むのが少し大変でした。9月からスタートした授業は6つで、主に教育学についての授業と、英語やフィンランド語など語学の授業を取っています。専門が英語教育ということもあり、英語で開講されている授業が多いです。また、オンラインのコースを1つ受講しており、与えられている資料をもとに自主学習の形でフィンランドの教育について勉強しています。そして、サマーコースに続き Suomi2 というフィンランド語のコースも受講しています。週3回の授業なので内容が進むのが早く、予習復習が少し大変です。教育の授業についてですが、ユヴァスキュラ大学には CLIL (英語で他教科の授業を行うもの) を行う教員を養成するための JULIET プログラムというものがあり、もともと言語習得や英語教育に興味があったので今期は主にこのプログラムで開講されている授業を受講しています。大学の協力校へ行って実際に生徒に授業を行うような授業もあるので、しっかり準備をして臨もうと思います。英語での授業に早く慣れて、内容をたくさん吸収できるように来月からも頑張ろうと思います！

2. 生活の状況

8月4日にユヴァスキュラに到着したのですが、日が長いことと、30度近い気温という想像以上の北欧の暑さに驚きました。そして日本にいる時よりも日差しが強く感じられた8月でした。が、2ヶ月経った今では朝晩はかなり冷え込み0度を下回る日もあるほどで、目に見えて日も短くなってきています。2ヶ月の間に30度近く気温が下がるなんて想像していませんでした…。

もうすでに冬物のコートを着ていますが、室内はとても暖かいので、フィンランド人曰くとにかく重ね着が大事みたいです。そしてユヴァスキュラは自然が豊かで、綺麗な湖が気に入っています。通学路が湖のそばなのですが、晴れた日の湖は本当に綺麗です。今は木々が紅葉していてそれもとても綺麗です。あっという間に秋が過ぎ去ってってしまったと思えるくらいに冷え込んでいますが、冬になったら凍った湖が見られるそうなのでそれも楽しみたいと思います。家での生活についてですが、ここでは3人でキッチンやバスルームが共有のフラットに住んでいます。私のフラットメイトはスペインとフランスの女の子で、一緒に夕食を食べたりサウナに行ったりと楽しく暮らしています。食事は、外食が高いので基本的には自炊をしています。外食は高いですが、食料品に関しては日本とそこまで変わらないかなと思います。日本の調味料もやや高いですが手には入るのでたまに日本食も作っています。そして、ユヴァスキュラ大学には Friendship Family Program というものがあり、ホストファミリーのような感じで週に1回程度フィンランド人のご家族と一緒に過ごしたりしています。私のホストファミリーは3人の子供がいるご家族で、今度夕食にお邪魔させていただく予定なのでとても楽しみです！この2ヶ月ユヴァスキュラから出ていないのでこれから旅行もしながらフィンランドやヨーロッパのいろいろなものを見て、体験していきたいと思います！Moi Moi！



授業でよく使っているメインキャンパス



2つのキャンパスの間にある湖
(通学路です！)

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/10/01～2018/10/31)

1. 勉学の状況

Finnish 2 フィンランド語の授業を引き続き履修しています。勉強を始めて3ヶ月が経ち、少しずつではありますがお店や看板の表示などがわかるようになり少し嬉しいです。今月は近くの小学校に授業を見に行く機会があったのですが、授業の指示がフィンランド語で出されていたので、子どもと関わる時にはその国の言葉を使えることも大切だなと感じました。大学生活の中ではフィンランド語を使う機会はほとんどないのですが、学校へ観察や実習に行く機会も今後増えていくので、生徒とコミュニケーションを取ることを目標に今後も勉強を続けていきたいと思います。

Academic English Communication 2 先月から約1ヶ月半の英語の授業でした。授業では主に論文の読み方や critical thinking などを行い、授業の最後には各自テーマを決めてプレゼンテーションを行いました。

Foreign Language Pedagogy 9月10月の2ヶ月間の授業でした。教育学部の授業で、外国語の教授法について勉強していました。大学院生や留学生が多く、様々なバックグラウンドを持つ学生と意見交換をすることができ面白かったです。

Content and Language Integrated Learning 通年で開講されている授業で、英語(外国語)を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。大学の近くに、英語で全ての授業を行っている小学校があり、今月はそこへ授業見学へ行ったりしました。春学期には小学校で実際に授業を行うことになっているので今のうちに学校や生徒の雰囲気をつかんでおきたいと思います。

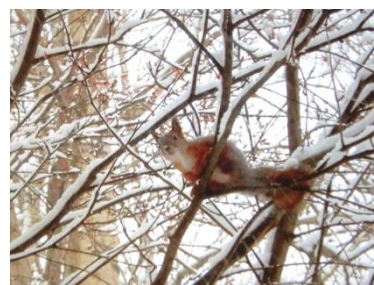
Language, Literature and Culture 小学校で英語の文学や文章を扱う授業を考えるという授業です。私はもう1人の日本人の留学生と2人で11月に5-6年生のクラスで俳句について全3回の授業を行うことになり、今月はその授業準備に少し忙しかったです。イスに座って話を聞くというよりはアクティビティがメインになる授業を考えるよう言われ、どのような形で授業を進めていけば良いのかなかイメーজがつかめないところもあり授業を作るのに苦労しました。生徒の興味を引くことができるような授業ができるといいなと思います。

Guide to Finnish Education オンラインのコースで、フィンランドの教育システムについての動画を見たり論文を読み課題を出すという形で勉強を進めています。フィンランドで学校観察等を行う上で知っておくべき基本知識になると思うのでしっかりと計画的に進めていきたいと思

います。

2. 生活の状況

雪が降りました！今月はサマータイムが終わったり、木々の葉が落ちて窓の外の風景はすっかり冬になってきています。10月ですが、千葉の冬より寒い日も珍しくありません。そして、太陽が低く、日照時間もどんどん短くなってきています。寒さよりも日が短いことの方が辛く感じます。家の中で塞ぎ込んでしまわないよう、楽しいことをたくさん見つけたり、誰かと会って話したりというのを今まで以上に意識していこうと思います。



部屋の窓から

2週間ほどの間にこんなにも景色が変わってしまいました！

そして今月はフレンドシップファミリーのお家に招待していただき、フィンランドの生活を少し体験することができました！サーモンやミートボールなど、フィンランドの伝統料理と一緒に作って食べたり、家のプライベートサウナに入らせてもらったりと、とても素敵な時間を一緒に過ごすことができました。フィンランドでは夜は蛍光灯ではなく間接照明やキャンドルのあかりで過ごすのが普通らしく、これも長い冬を過ごす中で生まれた北欧ならではの文化なのかなと思いました。



また、今月はずいにユヴァスキュラから離れて首都のヘルシンキとエストニアのタリンに旅行に行ってきました。普段生活している場所が大きな街ではないので、ヘルシンキの建物の多さやヨーロッパらしい建物を見られて感動しました。そして、エストニアはヘルシンキからフェリーで3時間ほどの隣国ですが、フィンランドとはまた違った昔ながらの街並みでとても綺麗でした。一口に北欧やヨーロッパと言っても、場所によって全く異なる風景や街の雰囲気を感じることができるとわかったので、これからはいろいろな国に足を伸ばしてみたいなと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/01～2018/11/30)

1. 勉学の状況

Finnish 2 授業が終わりに近づくにつれ少しずつ内容が複雑になり覚えることも多くなってきています。今月は、課題の一つとしてフィンランド人とフィンランド文化についてディスカッションを行うというものがあり、10分程度のディスカッションを行ったのですがとても大変でした…。何より話すスピードが速くて、ディスカッション以前にリスニングをしているような気分でした。これでも普段よりゆっくり話してくれたそうで、言葉を使えるようになるのは難しいなと感じました。11月が終わり、9月から週3回で続いてきたフィンランド語の授業も残すところテストのみとなりました。あと少し、テスト勉強を頑張ろうと思います。

Content and Language Integrated Learning 通年で開講されている授業で、英語（外国語）を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。今月は、大学の近くの小学校へ行き、授業見学をしてきました。ここは英語教育に力を入れている学校で、通常学級のほかに English Speaking Class があり、このクラスはすべての授業が英語で行われています。海外に住んでいたことのある生徒や海外にルーツを持つ生徒も多く、とてもインターナショナルな環境でした。また、通常のフィンランド語話者のクラスの授業も見学したのですが、こちらは Language Enrichment というものが行われており、毎回ではないもののオールイングリッシュで理科や社会などの授業を行う時間がありました。その時の授業では先生はフィンランド語を一切話さずに授業を行っていました。フィンランド人の英語の上手さはこういったところからきているのかなと感じました。日本ではなかなか見ることのできない様子だったので、授業の進め方や環境づくりなど、とても勉強になりました。

Language, Literature and Culture 小学校で英語の文学や文章を扱う授業を考えるという授業です。今月は、俳句を題材に全3回の授業を小学校で行ってきました。他の日本人の留学生とペアで授業を行いました。これまで最終的に生徒たちにオリジナルの英語俳句を作ってもらおうということを目指して授業づくりを行ってきました。日本の学校の様子と異なる部分も多かったことから、事前に想定していたことがうまくいかなかったり、指示がうまく通らなかったりと、大変だった部分もありました。しかし、3回の授業を通して最終的に生徒たちがオリジナルの英語俳句を完成させることができているのを見て嬉しかったです。私にとっては、生徒の前で実際に授業をするのは初めての経験だったので不安だった部分ももちろんありましたが、この授業を通して指導法や授業の留意点などをたくさん学ぶことができたためとてもいい経験になりました。

Guide to Finnish Education オンラインのコースで、フィンランドの教育システムについての動画を見たり論文を読み課題を出すという形で勉強を進めています。動画を見ていく中でフィンランドの教育の工夫がたくさん見えてきました。特に、特別支援であったり、海外にルーツを持つ子供に対しての手厚いサポートがあることに驚きました。そしてそれをサポートする教員養成に対してもかなりしっかりした制度が整っているようです。世界でもトップクラスといわれる教育のベースとなるフィンランド人の考え方に触れることができるのは面白いです。

2. 生活の状況

今月はずいぶん湖が凍りました！話には聞いていましたが、こんなに大きな湖が凍るなんてと驚きでした。そして特に今年は11月の日照時間が短い年だったようで、11月中旬までの総日照時間が4.5時間という短さでした。曇りの日が多く、一日中太陽を見ない日も続いたので、今月は久しぶりの晴れ間がとても嬉しかったです。



今月はタンペレという、ユヴァスキュラからバスで2時間ほどのところにある街に旅行に行ってきました。工業の街だそうで、赤レンガの街並みがとても素敵でした。ユヴァスキュラともヘルシンキともまた違った街の雰囲気でした。そして、ムーミンミュージアムがあるのもこの街です。フィンランドに来たからには一度行きたいと思っていたので行くことができよかったです。驚いたのは、英語やスウェーデン語、ロシア語などの案内表示に加えて日本語の案内表示があったことです。日本語が話せるガイドの方もいました。それだけ日本人の観光客が多いということなのだろうなと思いました。シーズンによって様々な物語が描かれているムーミンの物語は、ここに住んでみると納得できる場面がたくさんあるなど感じました。特に、長くて暗い冬の様子や、春の待ち遠しさなど、北欧の人たちの季節のとりえ方は日本とはまた違ったものがあるなとも面白かったです。



そして、今月は大学の建物の中にあるサウナに行ってきました。大学の中にまでサウナを作ってしまうほど、フィンランドの人たちにとってサウナは欠かせないものなんだなと思いました。寒い時期に入るサウナは体を温めるのには最高でした！そしてサウナはコミュニケーションの場でもあり、ゆっくり温まりながら話をしたりと、とてもいい空間だなと思います。これから冬本番、北欧の人たちに学びながら楽しく寒さを乗り切りたいと思います！



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/12/01～2018/12/31)

1. 勉学の状況

Finnish 2 今月はテストがありました。まだまだわからないこと、覚えきれないことばかりではありますが、振り返ってみるとフィンランドに来た当初に比べてかなりできることは増えたような気がします。街での買い物やカフェでのオーダーならフィンランド語でできるようになったのでとりあえずは週3回フィンランド語に費やした成果がでているのではないかと思います。テストが近づくにつれ授業に姿を見せなくなってしまったクラスメイトもいたり、なかなか大変な授業ではありましたが、授業の最後には先生が小さなクリスマスパーティーを開いてくれるなど、アットホームな雰囲気を受講することができました。この授業を通して、言葉だけでなくフィンランドの文化等についても学ぶことができたので良かったです。

Content and Language Integrated Learning 通年で開講されている授業で、英語（外国語）を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。今月は、小学校で見学した授業について意見交換をし、外国語の指導法や留意点などについて話し合いを行いました。今学期中、様々な国から来た留学生との意見交換や授業見学を通して、教科を超えた様々な指導法を学ぶことができました。来学期も続く授業なので、これまで学んだ知識を元に、より多くの指導法について学びたいと思います。

Language, Literature and Culture 小学校で英語の文学や文章を扱う授業を考えるという授業です。今月は授業のまとめとして各自が小学校で行った英語の授業についてクラス全体で振り返りを行いました。それぞれ扱った題材や授業を行った学年が異なっていたため、工夫をした箇所や生徒が興味を持った箇所なども異なっており、とても勉強になりました。この授業を通して様々なアクティビティの方法や、授業を進める上での注意点などについて学ぶことができました。

Guide to Finnish Education オンラインのコースで、フィンランドの教育システムについての動画を見たり論文を読み課題を出すという形で勉強を進めていました。全ての課題が終わり、フィンランドの幼児教育から職業教育まで、一連の流れや特徴について知ることができました。課題を進めていく上でフィンランドだけでなく他の国の教育事情などについても意見交換をする機会もあったので比較もでき面白かったです。

2. 生活の状況

フィンランド語で12月のことを joulukuu (joulu=クリスマス、kuu=月) というのですが、その名の通り今月は町中がクリスマスモードになっており、フィンランドの人たちがクリスマスを心待ちにしている様子が伝わってきました。冬至の今月は太陽を見る時間は少なかったのですが、雪が降っているおかげで夜でも明るく感じられました。今月は冬休みに入りいくつか旅行にも行っていたのでそのことについても少し触れたいと思います。

上旬に5日間ほど、ロヴァニエミというフィンランドの街に旅行に行っていました。ロヴァニエミはフィンランドの中でも北に位置している街で、北極圏をまたぐように位置している街です。そして、サンタクロースのふるさとでもあります！フィンランドに来たらぜひ行きたいと思っていた場所の一つでもあったのでクリスマスシーズンのこの時期に行くことができ良かったです。旅行中はコテージに泊まっていたのですが、そこでフィンランド式のサウナに入り、雪の降るなか外で涼み…というフィンランドらしいサウナを体験することができました。



サンタクロース村



雪の中でハイキングをしました

そして今月中旬にはオーストリアのウィーンとチェコのプラハに行ってきました。どちらも北欧とはまた違う雰囲気、フィンランドに比べると大きくて豪華な建物が多というイメージでした。特にウィーンは町中至る所でコンサートが行われていたり、美術館がたくさんあったりと、芸術の街だなと感じました。そして、クリスマス前の時期だったこともあり、クリスマスマーケットもたくさん見てくることができました。クリスマスならではの食べ物が売っていたり、クリスマス飾りがたくさん売っていたりと、ヨーロッパのクリスマスを感じることができる場所でした。日本ではなかなか感じることは少ないですが、ヨーロッパでは子どもからお年寄りまで、クリスマスを楽しみにしている様子が感じられました。



プラハのクリスマスマーケット



ウィーンのクリスマスマーケット



ウィーンのアペラハウス

またフィンランドでは、ホストファミリーがクリスマスのディナーに招待してくれ、一緒にごはんを食べてサウナに入るといふフィンランドらしいクリスマスをお過ごすことができました。また、今月下旬には雪が積もっていた日も多かつたため、ホストファミリーと一緒に近くの森にハイキングに行きました。映画の中にあるような一面の銀世界の中でのハイキングはとていい経験になりました。



今月は冬休みということで、授業期間中にはできないような経験をたくさんすることができました。来月からは新学期ということで時間割も変わるため、これまでとはまた違った生活になると思いますが、この秋学期に学んだことを生かしつつ、より多くのことを学び、経験していけるよう引き続き頑張りたいと思います。そして、早いもので留学も折り返しに来てしまったので、ここでの生活を思う存分楽しみたいと思います！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/01/01～2019/01/31)

1. 勉学の状況

冬休みが明け、新学期が始まりました。生活や授業にも慣れてきたので、今期はもう少し自分の専門分野の授業に力を入れていきたいと思っています。

Information Technology and Acquiring Information 2 ITをどのように教育に取り入れていくかについての授業で、毎週さまざまなソフトやアプリの使い方について学んでいます。今まで学校見学に行く中で、フィンランドの教育では日本以上にICTが使われているという実感があったため、より多くの新しい使い方を学ぶために受講することにしました。実際に、今まで使ったことなかったアプリの使い方や、Excelなどの便利な使い方など、知らなかったことを学ぶことができているので楽しいです。ここで学んだことを、今後学校などでも使っていききたいと思います。

Content and Language Integrated Learning 通年で開講されている授業で、英語（外国語）を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。今月の授業では、CLILの教育を行うためにどのような力が必要になるかなどを、授業の具体例などを通して学びました。理科の授業を英語で行うときの工夫や、一つの写真からテーマを広げ、五感を使って学ぶような授業まで、おもしろい授業の例がたくさんありました。色々な角度から物事を捉えることの大切さがわかったので、今後の授業などにぜひ取り入れていきたいと思いました。

Academic Language Development 1 この授業では、論文などアカデミックな文章の読み方や書き方などについて学んでいます。アカデミックな内容の授業なので、論文を読んだり文章を書いたり少し難しい内容も多いのですが、他の授業においても役に立つような知識も多いため、たくさんのことを吸収できるよう頑張りたいと思います。

Creative and Cultural Language Development この授業では、英語の音の指導法や、アクティビティなど、主に小学生など、英語学習の初期の子どもたちへのアプローチの仕方を学んでいます。主な内容は子どもたちへの指導法ですが、私自身にとっても毎回新しい発見があり、楽しみながら授業を受けています。「英語」と「ローマ字」の発音の違いにも気づくことができたりと、私自身にとっても言葉を見直すいい機会になっているなと感じています。来月以降、実際に小学校へ行き子どもたちとアクティビティを行う機会もあるため、それも楽しみです。

Teaching Practice for International Students 今学期は、留学生向けの教育実習の授業を受講しています。学期を通して大学の附属小学校に見学へ行き生活の様子や授業の様子について学びます。秋学期にフィンランド教育のシステムについて勉強をしていたので、それを元に実際の学校の様子を知ることができたらと思います。私の配属学級は 2 年生になりました。今後、文化紹介の時間なども設けていただけるようなので、子どもたちとコミュニケーションを取りながら、子どもたちにとってもいい影響を残せるといいなと思います。

2. 生活の状況

今年は、ロンドンで年越しをしてきました！新年ということで街はとても賑やかで、カウントダウンの花火や新年のパレードなど、年始ならではのイベントも見ることができました。今まで写真でしかみたことのなかった景色を見ることができ、とてもいい思い出になりました。



学校生活に関しては、新学期ということでたくさんの留学生がまた新たにやってきました。前期にあまり関わることのなかった国の留学生とも話をしたり出かけたりする機会があったので、せっかくの機会を無駄にしないよう、いろいろな国の留学生と仲良くなれたらと思います。

そして今月は、気温が低い日も多く、-20度を下回る日も度々ありました。自分の息の水蒸気で髪の毛が凍るなど、日本ではなかなか感じるののでできない冬を体験できています。今月は近くのスキー場までスキーにも行きました。寒さは大変なこともあります。北欧ならではの冬を楽しんでいます。そして最近、湖の上でスケートやクロスカントリーをしている人もよく見かけるようになったので、私も今度挑戦してみたいなと思います！



今月は、今まで以上にあっという間に過ぎて行ってしまったような気がしています。1年と思っていた留学生活も残すところあと3ヶ月ほどになったので、残りのフィンランド生活がより充実したものになるよう、今期も頑張っていきたいと思います！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/02/01～2019/02/28)

1. 勉学の状況

Information Technology and Acquiring Information 2 ITをどのように教育に取り入れていくかについての授業で、毎週さまざまなソフトやアプリの使い方について学んでいます。今月は主にプログラミング教育について学びました。プログラミングといっても文字を打ち込んでコードを勉強するようなものではなく、ゲーム感覚で指令の書かれたブロックを組み合わせていくアプリを使って、プログラミングの基本的な仕組みを学びました。日本でも今後プログラミング教育が始まるということもあり、楽しく機械の仕組みを学ぶことができる指導法について学びたいと思います。

Content and Language Integrated Learning 通年で開講されている授業で、英語（外国語）を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。今月は、ゲストスピーカーの先生から授業を受ける機会があり、その中で、体育や算数と組み合わせた言語教育の方法について学びました。授業や勉強というと教室の中で机に座ってというものを想像しますが、今回の授業は体育館のようなところで行いました。ボールを使って鬼ごっこをしながら英単語を勉強したり、体を動かしながら算数の計算をしたりというような授業の方法を学ぶことができました。勉強をしている、という感覚があまりないまま活動が進んでいき、また、大学生の私たちでも楽しみながら受けることができたので、小中学校に取り入れるにはとても効果的なのではないかと思いました。

Academic Language Development 1 この授業では、論文などアカデミックな文章の読み方や書き方などについて学んでいます。今月は、小学校の授業の様子のビデオを見て、どのような言語指導をしているかなどを分析したり、論文を書くにあたってどのようなフレーズや単語を使うべきかなど、少し専門的なところについても学びました。これから、自分の興味のあるテーマについて深めていくところになるので、授業内でのディスカッション等を通して多くのことを学んでいきたいと思います。

Creative and Cultural Language Development この授業では、英語の音の指導法や、アクティビティなど、主に小学生など、英語学習の初期の子どもたちへのアプローチの仕方を学んでいます。毎回、新しいアクティビティの方法や授業づくりのアイデアをもらえるので楽しく授業を受けています。授業で英語のスペルと音の関係性などについても学んでいるのですが、一緒に授

業をとっている英語のネイティブスピーカーの学生にとっても英語に関して新しい気づきがあるみたいです。ネイティブでないからこそ気がつく部分もあるということがわかって面白いなと思います。

Teaching Practice for International Students 今学期は、留学生向けの教育実習の授業を受講しています。今月は何度か実際に小学校へ行き、授業や一日の授業の流れを観察することができました。配属が2年生ということで授業が全てフィンランド語なので細かい部分の理解は難しいですが、授業の様子を見ているだけでも日本で私が受けてきたものとは全然違うなと感じます。また、2月ということもあり、体育の授業の時に氷を張った学校のグラウンドでスケートの授業をしていたのが印象的でした。さすが北欧だなと思いました。来月は、もう少し上の学年の授業の様子も観察に行きたいなと思っています。

2. 生活の状況

年が明けてから時間が過ぎるのがとても早く感じます。特に、時間の流れを感じるのが日の長さです。最近やっと、朝カーテンを開けると日の光が入ってくるようになりました。気温も少し暖かい日が出てきたり（今年の冬は例年よりも暖かくなるのがとても早いそうです）、春の訪れを感じている毎日です。ここ数ヶ月、長い冬が明けるのを心待ちにしていたのですが、いざ冬が終わり、綺麗な雪景色が見られなくなってしまうと思うと少し寂しいものがあります。冬が終わるとともに留学生活の終わりも近づいてきているんだな、と最近少し実感するようになりました。



冬になると湖の上が道路やスケートリンクになります！

今月の初めに、レッドブル・クラッシュドアイスという、アイスクロスというスポーツの大会がユヴァスキュラで開催されていたので観戦に行ってきました。普段はとても静かな町なのですが、この日はたくさんの人で盛り上がっていました。なかなか普段馴染みのないスポーツではありますが、目の前をすごいスピードで通り過ぎていく選手たちの迫力はすごかったです！日本人の選手も参加していたようでした。外で行われるレースだったので見ている間はとても寒かったです。最近少し実感することができとても面白かったです。



大会の様子

そして今月は、来年日本に留学に来るフィンランドの学生と会う機会があり（千葉大にくる学生にも会いました！）、一緒に節分に恵方巻きを作りました。フィンランドにいると日本の季節の行事を意識することがなかなかありませんが、外国人にとっては不思議なものだったり、日本人の私自身も意外とその由来を知らないことがあったりと、たくさんの発見があります。ここで出会ったフィンランドの学生と日本に帰ってからまた会えるのが楽しみです。

今月前半には、1週間ほどアイスランドへ旅行に行ってきました。北欧に来たからには一度訪れてみたかった場所だったので、行くことができよかったです！見渡す限りの自然の中にある一本道を抜け、迫力のある大きな滝を見たり、水色に輝く氷河を見たり、満点の星空の中でオーロラを見たりと、書ききれないくらいのたくさんの自然に触れることができました。他のヨーロッパの国々のような歴史ある有名な建物は少ない国ですが、豊かな自然に溢れており、目が釘付けになるような素敵な景色にたくさん出会うことができました！



水しぶきで虹が見えました



ダイヤモンドビーチ

もう少しでタームの区切りということもありこれから少し課題が忙しくなりそうですが、勉強もその他の生活も充実させつつ、春が来るのを楽しみに待とうと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/03/01～2019/03/31)

1. 勉学の状況

Information Technology and Acquiring Information 2 ITをどのように教育に取り入れていくかについての授業で、毎週さまざまなソフトやアプリの使い方について学んでいます。今月は主にタブレット端末を使って授業を行いました。印象的だったのは、タブレット端末とペンシルを使って絵を描くアプリの使い方を学んだ授業と、様々なアプリを使ってVR (Virtual Reality) について学んだ授業です。この授業を通して様々なアプリに触れて使い方を学ぶ中で、教師が教材になるようなものをたくさん知っていれば、教科を問わず学びの幅が広がるなど感じました。費用等の面で導入が難しい部分もありますが、授業に取り入れることができれば面白いと思いました。

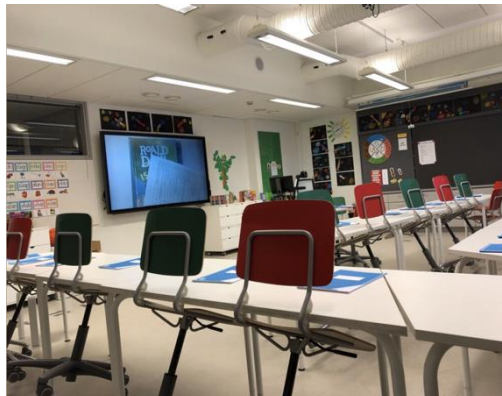
Content and Language Integrated Learning (CLIL) 通年で開講されている授業で、英語（外国語）を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。今月は最終回の授業で、通年で学んできたことをまとめ、ディスカッションを行いました。一言でCLILと言っても、国や対象年齢、学校の現状など様々な要素が関わっていることがわかり、誰に向けた授業なのかということを考えながら応用させていくことが大切なのだとわかりました。様々なバックグラウンドを持つ学生とのディスカッションから、国ごとの教育の現状や文化的背景も含めた教育について触れることができ、たくさんの刺激をもらえた授業でした。

Academic Language Development 1 この授業では、論文などアカデミックな文章の読み方や書き方などについて学んでいます。今月は授業の一環として、Kuopio という少し離れた町の中学校へ授業見学に行ってきました。英語の授業を見学したのですが、生徒の英語力やインターネットを通して課題を提出するような授業の進め方など、フィンランドの教育のまた新しい部分に触れることができとてもいい経験になりました。

Creative and Cultural Language Development この授業では、英語の音の指導法や、アクティビティなど、主に小学生など、英語学習の初期の子どもたちへのアプローチの仕方を学んでいます。今月は、実際に小学校へ行って20分程度のアクティビティを行ってきました。1-2年生向けに授業を行ったため、丁寧でわかりやすい指示が出せるよう気を配りながら授業計画を練りました。楽しみながら学んでもらえるよう計画した授業は、クラス一体となって進めていくことができたのでよかったです。

Teaching Practice for International Students

留学生向けの教育実習の授業を受講しています。今月も引き続き小学校へ授業見学に行っています。今月は私のホームクラスである2年生の授業の他に、言語クラスへ行って英語の授業を見学してきました。私が見たのは3年生のクラスでしたが、先生英語で出す指示や教材の英語をしっかり理解し、時には英語で質問や先生とのやり取りをしながら授業を行っていたのがとても印象的でした。



小学校の教室

そして来月には2年生のクラスで日本文化紹介の授業の時間をもらっているので、今はその準備中です。英語の勉強を始めたばかりの子供たちなので言葉の壁を感じる部分もありますが、生徒に興味を持ってもらえるよう準備をしたいと思います。

今月は大学の附属高校の英語の授業見学にも行ってきました。授業のアクティビティにおける先生の工夫や授業の進め方など、学ぶところの多い授業でした。日本の教育にどのように応用していけるか考えていきたいと思いました。

2. 生活の状況

学期末が近づいてきている今月は、課題等やや忙しい日々が続き、あっという間に3月が終わってしまったような印象でした。今月は雪もだいぶ溶け始め、冬には氷を張ってスケートリンクになっていた学校のグラウンドにも氷が無くなり、湖の氷も次第に溶け始めています。春の訪れを感じる毎日です。そして今月末にはサマータイムが始まって日が沈むのがさらに1時間遅くなったため、20時過ぎまで明るく、日照時間がとても長く感じます。15時頃に日が沈んでいた12月からは考えられない明るさです。



今月はアイススイミングに挑戦してきました！90～100℃ほどもあるサウナに入った後、凍った湖にあいた穴でのアイススイミングという、フィンランドらしいサウナを体験できました。以前から話には聞いていましたが、湖が凍るほどの寒さの中水に飛び込むなんて信じられないと思っていました。しかし、実際入ってみると寒いのは一瞬で、上がってしばらくするとスッキリす

るような、不思議な感覚でした。木々に囲まれた場所で自然を感じながらサウナに入る経験は、日本ではなかなかできない貴重なものでした。そして、お喋りをしながらサウナに入ってリラックスしているフィンランド人の様子を見て、フィンランドの人たちにとってサウナはリラックスできる場所であるのと同時に、コミュニケーションの場でもあるのだということを実感しました。

授業も残りの回数を数える程度になり、留学生活も残すところ約1ヶ月となりました。いろいろなことに「最後の」という言葉が付くようになり少しさみしい気持ちもありますが、最後にいい思い出をたくさん作れるよう、今月は勉強に遊びに思い切りやりきろうと思います！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/04/01～2019/04/30)

1. 勉学の状況

Content and Language Integrated Learning (CLIL) 通年で開講されている授業で、英語（外国語）を使って他教科の授業を行う方法を学んでいます。講義自体は先月で全て終了したのですが、今月は Rauma というフィンランドの町にある、CLIL が実践されている小中学校で2日間ほど授業見学をさせてもらってきました。英語教育に力を入れている学校ということで、小学1年生からオールイングリッシュで授業を行っていたことがとても驚きでした。理科や音楽など語学の授業以外でも英語を使って授業をしている様



世界遺産に登録されている Rauma の Old Town

子を見て、どのように授業の中で自然に英語を使うことができるかを学ぶことができました。

Creative and Cultural Language Development この授業では、英語の音の指導法や、アクティビティなど、主に小学生など英語学習の初期の子どもたちへのアプローチの仕方を学んでいます。今月は授業のまとめとして、理論に基づき英語教育の実践方法についてプレゼンやディスカッションを行いました。話し合いをする中で、国や地域ごとに受けてきた英語教育が大きく異なっているということを改めて感じ、その国の現状や生徒の英語力等に応じて様々な理論を取り入れ、工夫して応用していくことの大切さを感じました。

Teaching Practice for International Students

留学生向けの教育実習の授業を受講しています。今月も引き続き小学校へ授業見学に行っています。今月は、私のホームクラスである2年生のクラスで日本についてのプレゼンをする時間を先生からいただき、小学生に日本文化の紹介をしました。2年生ということで英語でのコミュニケーションが難しかったため、先生に助けをもらいながらできる限りフィンランド語を交えつつ、日本の行事やあいさつ、昔話などについて紹介をしました。挨拶を紙に書き写してくれるなど、子供たちが興味を持って話を聞いてくれている様子が伝わってきてとても嬉しかったです。日本のことをいくつか知ってくれていた子が多かったこともとても嬉しかったです。

また、学校のインターナショナルクラブという放課後の希望者のクラブで、生徒に日本の遊びと料理の紹介をしました。遊びの紹介ではトントン相撲、料理はいももちを子ども達と一緒に作

りました。どちらも子ども達にとっては初めての経験だったようで、楽しんでゲームや料理に取り組んでくれていました。

大学の講義とは別に、今月は3回ほど知り合いの先生が働いている近くの高校でプレゼンをする時間をいただきました。準備を通して私自身日本の文化や教育等について改めて考えることができました。学校の様子や宗教、文化など、私たちが当たり前のように過ごしている日常もフィンランドの高校生にとっては新鮮だと感じる部分も多かったようで、いろいろな意見が出ていました。特に学校生活の様子について、掃除の習慣や部活動、朝のホームルームなどはフィンランドにはない習慣ということもあり、フィンランドに取り入れたいかどうかなどの生徒の意見を聞くことができました。私自身にとっても他の国から見た日本についての意見を聞くことは新鮮だったのでとてもいい経験になりました。

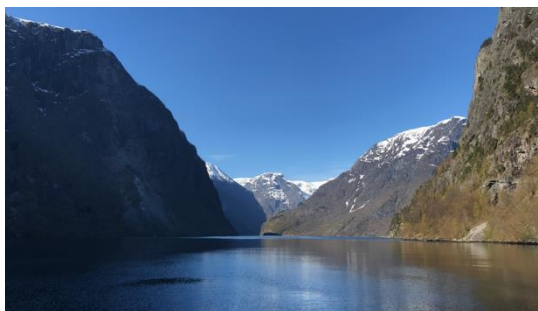
2. 生活の状況

今月は、季節が大きく変わったと感じる1ヶ月でした。上旬にはスキーをしに行くなどまだまだ雪が残っていましたが、下旬には湖の氷もすっかり溶けて木々の緑も次第に戻ってくるなど、春の訪れを感じる日も多かったです。

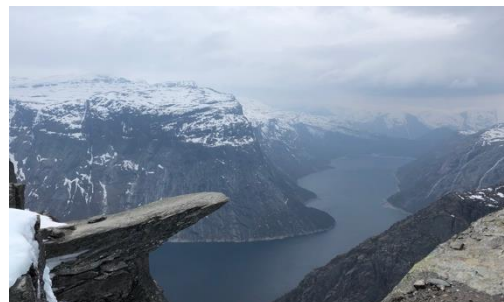
今月は初めて Mölky(モルク)というフィンランドの伝統的な遊びをフィンランド人の友人に教えてもらいました。サマーコテージなどへ行った際にはよく行われる定番の遊びのようで、木製のボウリングのような遊びでした。一つ一つのピンは手のひらサイズで、並べたピンを木の棒を投げて倒して遊びます。ルールはとても簡単で、子どもから大人まで楽しめる遊びだと思いました。



今月はイースター休暇があり、ノルウェーとスウェーデンに旅行へ行ってきました。特にノルウェーのフィヨルドは、高校生の頃に教科書で見てからずっと行ってみたいと思っていた場所だったので実際に見ることができとても感動しました。また、ノルウェーでフィヨルドの沿岸の崖にある Trolltunga という場所を目指して登山をしてきました。雪が残る中、往復12時間の山道は大変な部分も多くありましたが、頂上から見るフィヨルドの景色はとても壮大で綺麗でした。



ノルウェーのフィヨルド



Trolldunga

そしてスウェーデンでは滞在中にちょうど桜祭りのイベントが開催されており、思いがけずお花見をすることができました。スウェーデンで和太鼓の演奏や書道のパフォーマンスが見られるとは思っていませんでしたので、日本の春を感じることができ嬉しかったです。どちらの国も、同じ北欧でもフィンランドとはかなり異なる風景が広がっており、自然や歴史の違いに触れることができた良い旅行でした。



スウェーデンの桜

今月は多くの講義が終わったこともあり、中頃から少しずつ留学生が帰国し始めました。秋学期以上に時間が過ぎるのが早く感じ、あっという間に終わってしまったような気がします。帰国が迫った友人たちを見ると、自分の留学生活も終わりに近づいているのかと感じ、少し寂しい気持ちも出てきました。フィンランドでの生活も残すところ2週間となりました。まだまだ留学が終わってしまう実感はわからないのですが、後悔のないよう最後にたくさんの思い出を作って帰りたいです！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/05/01～2019/05/14)

1. 勉学の状況

留学も終わりに差し掛かり、授業が4月で全て終わってしまったため、今月は大学で受ける講義はありませんでした。学期末ということで、今までの総復習も含め課題のレポート等に取り組んでいました。

2. 生活の状況

長いと思っていた留学もついに今月が最後になってしまいました。雪も溶けて、春を感じられる日も多くなってきました。先月は少し残っていた湖の氷も今月にはすっかり溶けきっており、夏至に近づくにつれて日照時間も日に日に長くなっています。

今月は、授業が終わったこともあり、帰国の準備と、最後に友達とパーティーなどをしていました。帰国に向けての名残惜しさもありましたが、1年間の荷物の整理と、帰国に向けての書類の手続きなどもあり、楽しくも忙しい日々が続きました。

雪が溶け、暖かくなってきたので、フィンランド人の友達と一緒に、近くの公園でディスクゴルフをしました。ディスクを投げながら、森の中にあるコースでゴールを競うもので、日本ではあまり触れることのないスポーツかと思いますが、フィンランドでは馴染みのあるスポーツのようです。木々を避けながらディスクをコントロールしてゴールを目指すのはなかなか難しかったですが、自然の中で行うディスクゴルフはとても楽しかったです。



また、今月は、多くの留学生が帰国間近ということもあり、友達と集まってパーティーなどをしていました。料理を持ち寄り、バーベキューをしたりと、最後のフィンランド生活を存分に楽しむことができました。

帰国前には、数日間ヘルシンキ市内に滞在し、世界遺産である Suomenlinna (スオメンリンナ) に行ってきました。ヘルシンキの街中からフェリーで15分ほどの群島で、フィンランドがスウェーデンの一部だった18世紀に建設された要塞です。スオメンリンナは、フィンランド語で「フ



インランドの要塞」という意味を持ちます。戦争の際に要塞として建設された場所ですが、現在では、綺麗な景観と、重要な建造物が多く残っていることから、世界遺産に登録されています。訪れていた人も多く、天気も良かったため景色もとても綺麗でした。

楽しい時間はあっという間に終わってしまい、日本への帰路につきました。帰国の際も来た時と同じ航路で帰ってきたのですが、留学生活が始まった時のことや、1年間の様々なことを思い出しながら帰ってきました。去年は不安でいっぱいの中降り立った空港でしたが、この1年間でわかることも増え、少しは成長できたのではないかと思います。もう少しフィンランドで過ごしたかったという気持ちも大きかったのですが、それも、この1年間で多くのことを経験し、学び、充実した毎日を送ることができたからこそだと思います。この1年で学んだことを自分の糧にして、今後の大学生活や、大学卒業後の生活でもチャレンジ精神を持って、この1年に負けないくらい充実した毎日を送りたいと思います。

1年間お付き合いいただきありがとうございました！ Moi moi :)